



## 2023年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月14日

上場会社名 ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6090 URL <https://humanmetabolome.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋爪 克仁  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート統括本部長 (氏名) 大畑 恭宏 TEL 03-3551-2180  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年6月期第2四半期の連結業績（2022年7月1日～2022年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第2四半期	610	14.4	84	9.7	86	5.6	74	△9.7
2022年6月期第2四半期	533	△0.7	76	—	82	—	82	—

(注) 包括利益 2023年6月期第2四半期 67百万円 (△13.7%) 2022年6月期第2四半期 77百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第2四半期	12.56	—
2022年6月期第2四半期	13.92	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第2四半期	1,992	1,556	74.3
2022年6月期	2,068	1,486	68.1

(参考) 自己資本 2023年6月期第2四半期 1,481百万円 2022年6月期 1,407百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年6月期	—	0.00	—	—	—
2023年6月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年6月期の連結業績予想（2022年7月1日～2023年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,300	6.3	240	25.6	260	2.7	270	0.8	45.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年6月期2Q	5,907,175株	2022年6月期	5,900,300株
② 期末自己株式数	2023年6月期2Q	144株	2022年6月期	112株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年6月期2Q	5,902,849株	2022年6月期2Q	5,900,188株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社は、2023年2月21日（火）に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する資料については、開催後遅滞なく、TDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
3. 補足情報.....	9
生産、受注販売の状況 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、日米金利差に起因する円安、資源価格の高止まりに伴う国内物価の高騰、新型コロナウイルス感染症の再拡大等に加え、世界景気の減速懸念等により、依然として先行きは不透明な状況となっております。

当社グループが属するライフサイエンス業界においては、新型コロナウイルス感染症対策としての治療薬・ワクチン等の開発に加え、免疫力向上等の感染症予防を促進するための機能性表示食品開発等、健康管理へのニーズの高まりを受けた研究開発の増加傾向が継続しています。

このような状況の中、当社グループでは代謝物の高感度網羅解析サービスの営業活動を精力的に行うことで先端研究開発支援事業の受注拡大を図るとともに、研究開発費を除く一般管理費の削減に引き続き取り組みました。研究開発においては、引き続き大うつ病性障害（以下「うつ病」といいます。）バイオマーカーの事業化やヘルスケア・ソリューション事業における新規サービス開発のための研究開発を推進しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、610,505千円（前年同期比14.4%増）と大幅な増収となりました。営業利益は84,289千円（前年同期比9.7%増）、経常利益は86,710千円（前年同期比5.6%増）と増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、繰延税金資産の取り崩しの影響により74,167千円（前年同期比9.7%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ① 先端研究開発支援事業

当事業セグメントにおいては、国内外ともに代謝物の高感度網羅解析サービスや、提供メニュー拡大を目的に提携先から導入したその他オミクス受託サービスの販売が堅調に推移し、アカデミア分野を中心として売上が増加しました。特に欧米での代謝物解析受託サービス需要が拡大しております。提携先から導入販売した受託サービスの国内での売上増加等に伴い、売上総利益率はやや低下しましたが、一般管理費の削減にも努めた結果、増収増益となりました。

この結果、売上高は587,789千円（前年同期比10.6%増）、全社費用配賦後セグメント利益は153,646千円（前年同期比15.4%増）となりました。

#### ② ヘルスケア・ソリューション事業

当事業セグメントにおいては、うつ病バイオマーカーの共同開発を進めるとともに、皮膚ガス測定サービスの拡販を進めました。またエクソソーム関連の共同研究の成果の一つとして、エクソソーム精製カラムの新製品を2022年12月に上市いたしました。さらにヘルスケア関連企業向けの新規事業の研究開発を推進しました。

この結果、売上高22,716千円（前年同期比881.5%増）、全社費用配賦後セグメント損失は69,357千円（前年同期は56,258千円のセグメント損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

##### (流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は1,671,457千円となり、前連結会計年度末に比べ70,510千円減少しました。これは、売掛金が90,902千円増加したものの、賞与支給及び法人税の納付等により現金及び預金が144,080千円減少したこと等によるものであります。

##### (固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は320,915千円となり、前連結会計年度末に比べ5,845千円減少しました。これは設備投資を行い工具、器具及び備品が21,601千円増加したものの、減価償却累計額が38,049千円増加したこと等によるものであります。

##### (流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は403,790千円となり、前連結会計年度末に比べ142,489千円減少しました。これは未払金が89,609千円、賞与引当金が36,290千円及び未払法人税等が25,589千円減少したこと等によるものであります。

（固定負債）

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は31,815千円となり、前連結会計年度末に比べ4,055千円減少しました。これは、リース債務が4,067千円減少したこと等によるものであります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産は1,556,767千円となり、前連結会計年度末に比べ70,189千円増加しました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益74,167千円の計上等によるものであります。

なお、2022年9月22日に開催された株主総会において、資本準備金の額の減少及び剰余金の処分の件が決議されたため、会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金の額を減少し、その他資本剰余金に振替えるとともに、会社法第452条の規定に基づき、振替後のその他資本剰余金を繰越利益剰余金へ振替える処理を、第1四半期連結会計期間において実施しております。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ144,080千円減少し、1,360,663千円となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの概況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは111,565千円の減少となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益90,082千円を計上したものの、売上債権の増加91,166千円及び未払金の減少108,346千円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは20,837千円の減少となりました。これは無形固定資産の取得による支出11,970千円及び有形固定資産の取得による支出8,867千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは6,859千円の減少となりました。これはリース債務の返済による支出6,835千円等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、例年第3四半期連結会計期間に収益が偏る傾向にありますが、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、予想の範囲内で推移しております。また、当社グループの経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通しにつきましても、現在のところ重要な変更事項はありません。そのため、通期の業績予想につきましては、2022年8月10日公表から変更はございません。

新型コロナウイルス感染症の通期業績に与える影響につきましても、現在の政府の感染対策方針に基づき経済優先の施策が続くのであれば影響は軽微と考えておりますが、今後の新型コロナウイルス感染症の更なる拡大を考慮し、業績への影響については引き続き注視してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,504,744	1,360,663
売掛金	158,117	249,019
商品	18,859	6,452
仕掛品	15,834	15,194
原材料及び貯蔵品	8,705	7,189
その他	35,705	32,935
流動資産合計	1,741,967	1,671,457
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	55,760	59,760
工具、器具及び備品	492,375	513,977
車両運搬具	317	—
リース資産	223,544	230,198
建設仮勘定	—	1,497
減価償却累計額	△528,900	△566,949
有形固定資産合計	243,096	238,484
無形固定資産	6,105	17,530
投資その他の資産	77,559	64,901
固定資産合計	326,761	320,915
資産合計	2,068,728	1,992,373
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	123	255
短期借入金	200,000	200,000
未払金	128,676	39,067
リース債務	9,864	13,849
未払法人税等	32,808	7,218
賞与引当金	77,074	40,783
その他	97,732	102,616
流動負債合計	546,279	403,790
固定負債		
リース債務	23,331	19,264
資産除去債務	12,540	12,551
固定負債合計	35,871	31,815
負債合計	582,151	435,605
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,481,600	1,484,660
資本剰余金	1,470,317	3,059
利益剰余金	△1,522,937	21,547
自己株式	△143	△167
株主資本合計	1,428,837	1,509,100
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△21,014	△27,999
その他の包括利益累計額合計	△21,014	△27,999
新株予約権	78,754	75,666
純資産合計	1,486,577	1,556,767
負債純資産合計	2,068,728	1,992,373

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
売上高	533,880	610,505
売上原価	159,012	214,576
売上総利益	374,868	395,929
販売費及び一般管理費	298,008	311,640
営業利益	76,859	84,289
営業外収益		
受取利息及び配当金	5	7
補助金収入	—	570
為替差益	6,493	2,014
その他	103	1,057
営業外収益合計	6,602	3,649
営業外費用		
支払利息	984	1,228
その他	352	—
営業外費用合計	1,336	1,228
経常利益	82,124	86,710
特別利益		
新株予約権戻入益	6,707	3,372
特別利益合計	6,707	3,372
税金等調整前四半期純利益	88,832	90,082
法人税、住民税及び事業税	7,567	1,009
法人税等調整額	△885	14,904
法人税等合計	6,682	15,914
四半期純利益	82,149	74,167
親会社株主に帰属する四半期純利益	82,149	74,167

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	82,149	74,167
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△4,328	△6,985
その他の包括利益合計	△4,328	△6,985
四半期包括利益	77,821	67,182
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	77,821	67,182
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	88,832	90,082
減価償却費	24,982	39,650
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△13,254	△36,290
受取利息及び受取配当金	△5	△7
支払利息	984	1,228
為替差損益 (△は益)	△6,493	△2,014
補助金収入	—	△570
株式報酬費用	625	284
新株予約権戻入益	△6,707	△3,372
売上債権の増減額 (△は増加)	△117,126	△91,166
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△8,723	14,561
仕入債務の増減額 (△は減少)	10,812	132
前払費用の増減額 (△は増加)	13,374	7,005
前受金の増減額 (△は減少)	△15,001	△18,380
未払費用の増減額 (△は減少)	13,418	12,104
未払又は未収消費税等の増減額	△9,885	8,433
未払金の増減額 (△は減少)	△28,688	△108,346
その他	△10,688	△3,396
小計	△63,545	△90,062
利息及び配当金の受取額	5	7
利息の支払額	△984	△1,228
補助金の受取額	—	570
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△5,743	△20,851
営業活動によるキャッシュ・フロー	△70,267	△111,565
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△126,825	△8,867
無形固定資産の取得による支出	△1,161	△11,970
有価証券の取得による支出	△7,000	—
その他	116	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△134,870	△20,837
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△9,698	△6,835
自己株式の取得による支出	—	△23
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,698	△6,859
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,770	△4,818
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△211,066	△144,080
現金及び現金同等物の期首残高	1,245,050	1,504,744
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,033,983	1,360,663

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(資本準備金の額の減少及び剰余金の処分について)

当社は2022年9月22日開催の第19期定時株主総会において、会社法第448条第1項の規定に基づき、「資本準備金の額の減少及び剰余金の処分」について決議し、2022年9月30日を効力発生日として、資本準備金1,470,317千円を減少し、同額をその他資本剰余金への振替を実施いたしました。

また、会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金1,470,317千円の繰越利益剰余金への振替を実施しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において、利益剰余金は21,547千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		
	先端研究開発支援事業	ヘルスケア・ソリューション事業	計
売上高			
日本	438,979	2,314	441,293
アジアパシフィック	25,364	—	25,364
欧米	67,221	—	67,221
顧客との契約から生じる収益	531,565	2,314	533,880
外部顧客への売上高	531,565	2,314	533,880
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	531,565	2,314	533,880
セグメント利益又は損失(△)	133,117	△56,258	76,859

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		
	先端研究開発支援事業	ヘルスケア・ソリューション事業	計
売上高			
日本	438,855	22,716	461,571
アジアパシフィック	29,079	—	29,079
欧米	119,854	—	119,854
顧客との契約から生じる収益	587,789	22,716	610,505
外部顧客への売上高	587,789	22,716	610,505
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	587,789	22,716	610,505
セグメント利益又は損失(△)	153,646	△69,357	84,289

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 3. 補足情報

生産、受注販売の状況

## ① 生産実績

生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	
	生産高 (千円)	前年同期比 (%)
先端研究開発支援事業	835	50.6
合計	835	50.6

(注) 1. 上記の金額は、先端研究開発支援事業のうち、試薬キットに係る部分を記載しております。  
2. その他先端研究開発支援事業、ヘルスケア・ソリューション事業については、業務の性質上生産として把握することが困難であるため記載しておりません。

## ② 仕入実績

仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	
	仕入高 (千円)	前年同期比 (%)
先端研究開発支援事業	232	2.2
合計	232	2.2

(注) 1. 上記の金額は、先端研究開発支援事業のうち、限外ろ過フィルターに係る部分を記載しております。  
2. その他先端研究開発支援事業、ヘルスケア・ソリューション事業については、業務の性質上仕入として把握することが困難であるため記載しておりません。

## ③ 受注実績

受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)			
	受注高 (千円)	前年同期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)
先端研究開発支援事業	721,569	102.8	528,275	142.3
ヘルスケア・ ソリューション事業	19,358	836.4	297	9.9
合計	740,928	105.2	528,572	141.3

## ④ 販売実績

販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	
	販売高 (千円)	前年同期比 (%)
先端研究開発支援事業	587,789	110.6
ヘルスケア・ ソリューション事業	22,716	981.5
合計	610,505	114.4